

親水活動を考えた河川整備

建設省土木研究所
河川部都市河川研究室

1. はじめに

川は豊かな自然と変化に富み、見通しのきく空間とたえず流れる水は人々の気持ちを和ませ、川で憩う楽しさを与えてくれます。そのため川に魅せられて多くの人々が集まってきます。

「親水活動は水に直接触れるものとして捉え、これらが行われるように整備し、高水敷を広場、グラウンドなどに整備し、その施設を利用するものは本来の親水活動（水遊び）ではない。」

このように狭義の親水活動として捉えてしまうと、水質が良好でないと活動ができないとか、活動種別が限られるとか、整備できる場所も少ないと考えてしまう。

しかし、河川をよりひろくの人々がより多くの時間をさいて河川と接することを「親水活動を考えた河川整備」とするならば、直接水に「触れる」「入る」などの狭義の活動に限定せず、河川区域内でできるものすべての活動（生活、生産活動を除く）を対象として考え、いつでも誰でも使用できるものと理解しておくことが重要である。

2. 親水活動（水遊び）の体験

土木研究所が行った「川遊び・水遊びの原体験調査」によれば、今の大人は子供の頃98%の人が川や水路で遊んでいた。そして小学生のときに、友達と、家から近い川でほとんどの人が遊んだ。遊びも多様で、特に生物との係わりが強く、その生物は今でも身じかにいるフナやドジョウ、ザリガニ、トンボなどである。（図1～8）

わたしたちが子供の頃楽しく、時間のすぎるのも忘れ遊んだ川遊びの体験をもう一度取り戻し、子供に川遊びを体験

させたい。こんな願いを持ちながら、親水活動を考えた河川整備をしていけば良いものができるのではないだろうか。

3. 親水活動を考えた河川整備

河川を親水活動を考えて整備する場合、基本的には河川環境管理基本計画におけるゾーン分けに対応させて考えておけばよい。

親水活動を活動の内容から分類すると、

「自然地域の中でワイルドに自然体験するもの」

「自然地域に入り受動的に自然と親しむもの」

「日常生活の中で気軽に自然に親しむもの」

「河川沿いを歩くことを主体としたもの」

「河川におけるイベント行事」

「河川におけるレジャー・スポーツ」

になる。さらにこれを活動内容から分類したものを表-1に示す。

親水活動を考えた河川整備（施設整備）を行なう場合、対象河川を設定し、整備場所の特性、水質現況などを十分把握する。次に表-1の分類に基づいて、親水活動の内容を考えて、行動の組み合わせを想定し、施設整備計画を立てる。

4. 親水活動を考える場合の対象者の考え方

環境整備を行なう上で今までの対象は子供、大人に分けて考えることが多かった。しかし、親水活動を年齢層などを詳細に分類すると、①チャイルド（子供同士）、②ヤング、③カップル、④ファミリー（家族）、⑤アダルト、⑥グループ（団体）、⑦シルバー（老人）、⑧マニアに分類したほ

なんさいころ遊んだか

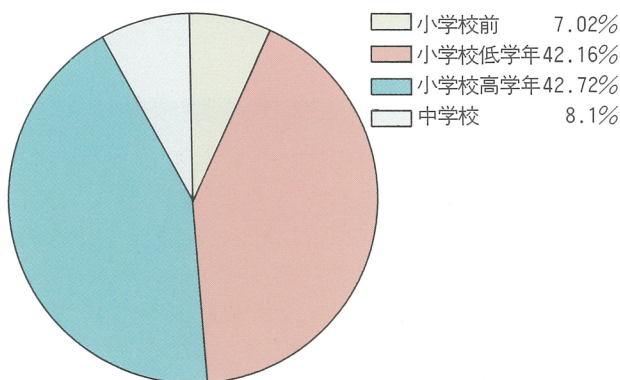


図-1 川遊び・水遊びをよくした年齢

だれと遊んだか

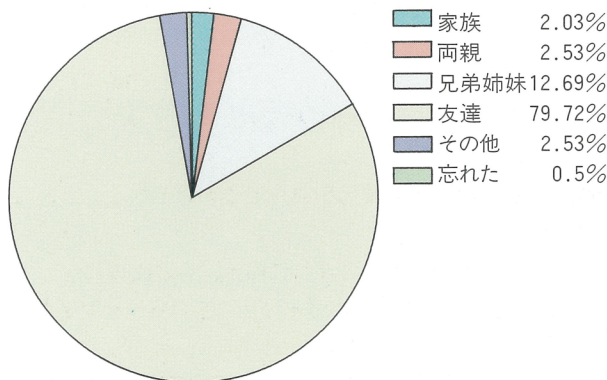


図-2 誰と川遊び・水遊びをよくしたか

うが、親水活動を考えた河川整備を考える上での対象者としたほうが実態に即している。

チャイルドは子供同士で河川に行き子供の発想のもとに遊びの天才ぶりを発揮しながら活動する。ヤングはジェットスキー、ウィンドサーフィン、カヌーなど用具を用いた活動をよくする。カップルは河川をデートコースなどとして散策するなどの活動をする。ファミリーは家族で河川を利用し、特に小さな幼児を同伴させ、川遊びを体験させたりする活動。アダルトは大人が健康維持のためなどにジョギングや散歩をする。グループは団体で行動する球技や観察会であり、シルバーは老人が健康維持のためなどに散歩するなどの活動である。マニアはある一つのことにに対して病的に執着して行動するものなどの行動別に分けられる。

(表-2 参照)

これらの事例をいくつか見てみることにする。

(1)大淀川緑地公園……写真①～②

都市部を流れる大河川で、元々あった水泳場を低水護岸と合わせて再整備し、さらに高水敷にせせらぎ水路を整備している。

利用者は早朝のアダルト、シルバーに始まり、日中の河川プールは小学生、せせらぎ水路はファミリーになっている。利用者により利用時間帯、利用場所がそれぞれ異なっ



写真① 河川プールの利用状況（小学生が主とした利用者）



写真③ デイキャンプの利用状況（ファミリー、グループの利用）

ている。

(2)那珂川……写真③～④

河川環境整備は特にしておらず、本来ある河川の持つ自然ポテンシャルを生かした利用が多い。

ヤングのカヌー、ファミリーのデイキャンプ、グループの観光や、マニアの釣り等の利用である。ここは特別親水活動を考えた河川整備はしていないが、本来もつ河川のポテンシャルにより、多くの人々を広域から集めている。

8. おわりに

親水活動（水遊び）は、河川環境の中のひとつである。景観や生態系もあり、さらに治水、利水といった中で親水活動を考え、整備の方向をきちんと捉えておかなければならない。

特に、河川の魅力は水と生物の存在である。この水と生物を生かす整備が必要である。河川空間を堤内地と類似の利用ではなく、河川の特性を生かした整備が今後望まれる。

【引用文献】

- 1) 小栗、清水 川遊び・水遊びの原体験に基づく河川整備の考え方について 土木学会第46回年次講演会
- 2) 里見、島谷、小栗 ウォーターフロント開発シンポジウム、1992年1月



写真② せせらぎ水路の利用状況（幼児とお母さん）



写真④ 鮎の友釣りの状況（釣りマニアの人達）

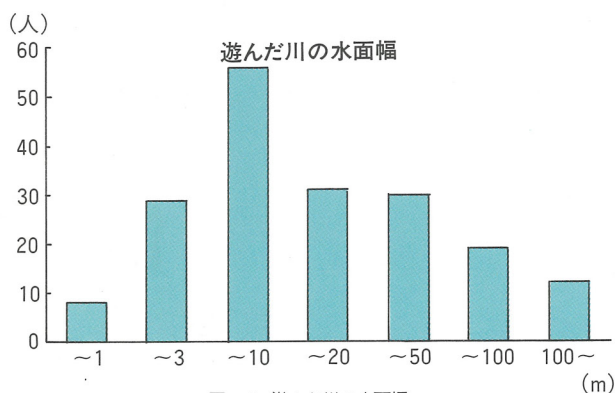


図-3 遊んだ川の水面幅

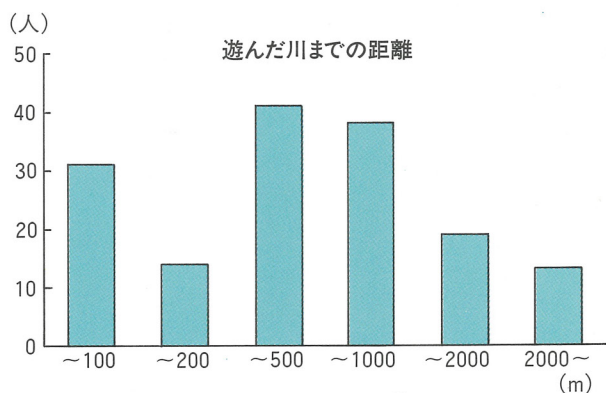


図-4 遊んだ川までの距離

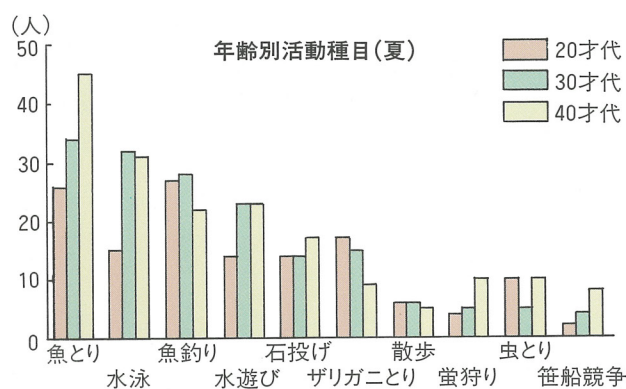


図-5 年齢別活動種別 (夏)

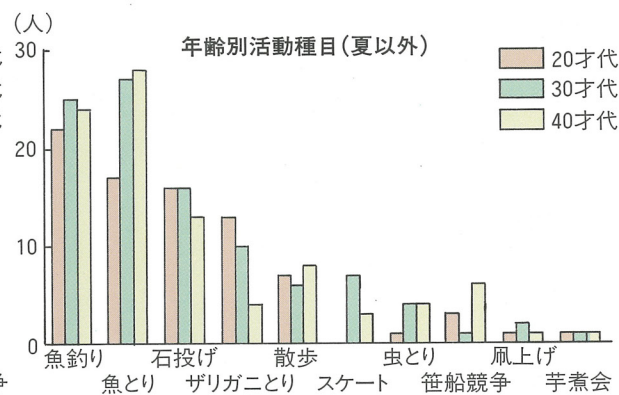


図-6 年齢別活動種別 (夏以外)

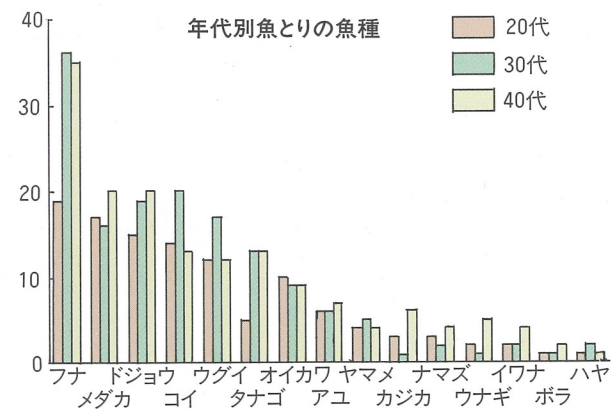


図-7 年代別魚捕りの魚種

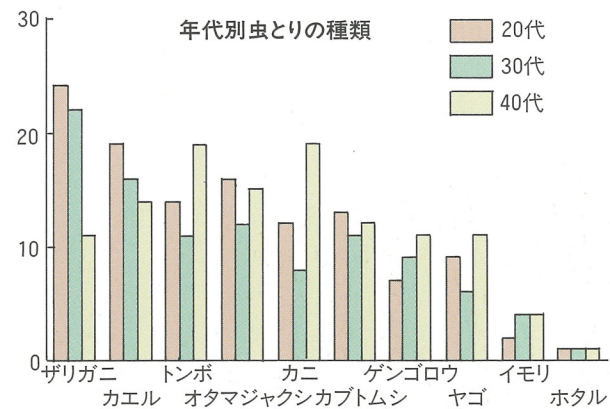


図-8 年代別虫捕りの種類

表－1 活動の分類（その１）

タイプ	活 動 の 分 類		
	活動の分類	活動の内容	行動及び行動の組み合わせ(例)
ワイルド型	キャンプ型	自然の中で宿泊を中心とした活動	バーベキュー、キャンプファイヤ、花火、宴会、水遊び、水泳、釣り、カヌー、散策、ハイキング、魚・虫捕り
	デイキャンプ型	自然とのふれあいを中心とした活動	バーベキュー、散策、水遊び、釣り、飲食、ハイキング
	アクティブ型	自然を対象に体を積極的に動かす活動	沢登り、溪流釣り、観察、写真、飲食、カヌー
自然観賞型	ウォッチ型	自然を静的に観賞する	バードウォッチング、飲食、写真、写生、釣り
	ハイキング型	自然の中を歩く活動	ハイキング、ピクニック、写真、飲食
身近な自然指向型	小川水遊び型	せせらぎ等の水遊び	水遊び、笹船流し、魚・虫捕り、ザリガニ捕り
	土手遊び型	高水敷・堤防での原っぱ遊び	草摘み、虫捕り、土手滑り
	魚・虫捕り型	網を使っての魚・虫捕り	釣り、魚・虫捕り、トンボ捕り、ザリガニ捕り、オタマジャクシ捕り
	生物観察型	身近な植物・魚・鳥の観察	写真、写生、散策、休憩、餌やり
散策型	健康型	日常的に健康を目的として歩く	長い距離を歩く、見る
	気分転換型	気分転換を目的とした散策、休憩	ぶらぶら歩く、見る、寝転ぶ、軽食、座る
	デート型	アベックのデート行為	歩く、座る、語る、飲食
	八景型	場所・時間が限定された景観を楽しむ	歩く、座る、語る、集う、写真、写生
	探訪型	史跡・名勝等魅力ある所を訪ね歩く	歩く、座る、語る、集う、写真、写生、知る
イベント型	伝統行事型	河川で行なう伝統行事	祭、信仰、灯籠流し、流し雛
	イベント型	多数の人々が集う活動	タコ上げ大会、コンサート、マラソン大会、イカダ下り大会、カヌー大会
	年中行事型	年中・季節的行事	花火大会、芋煮会、花見
レジャー・スポーツ型	遊覧型	水面で受動的に利用	遊覧船、屋形舟、水上バス
	水面スポーツ型	水面を能動的に利用	ボート、カヌー、ウィンドサーフィン、ジェットスキー
	水際線利用型	水際線を利用	釣り
	高水敷グラウンド型	グラウンド利用のスポーツ	球技、トレーニング
	高水敷空間型	空間利用型のレジャー	タコ上げ、ラジコン、モトクロス、オフロード車、菜園
	堤防型	堤防利用の縦断的活動	サイクリング、マラソン、ジョギング

表－2 活動の分類（その２）

タイプ	活 動 の 分 類	日 常 性	対 象 河 川					横断的利用場所				利 用 者							
			大 河 川			都市河		水 面	水 際	高水 敷	堤 防	チャイルド	ヤング	カップル	ファミリー	アダルト	シルバー	グループ	マニア
			上	中	下	小	中												
ワイルド型	キャンプ型	－	○					○	○	○			○		○			○	○
	デイキャンプ型	－	○						○	○			○	○	○			○	○
	アクティブ型	－	○					○	○	○			○						○
自然観賞型	ウォッチ型	△	○	○	○			○	○	○	○				○	○	○		○
	ハイキング型	△	○	○						○	○		○	○	○	○			
身近な自然 指向型	小川水遊び型	○			○	○	○	○	○			○			○				
	土手遊び型	○			○	○	○			○	○	○			○				
	魚・虫捕り型	○			○	○	○	○	○	○		○			○				
	生物観察型	○			○	○	○	○	○	○	○	○			○		○		
散策型	健康型	◎			○	○	○			○	○	○				○	○		
	気分転換型	○			○	○	○			○	○	○			○		○	○	
	デート型	○			○					○	○	○			○				
	八景型	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○		○
	探訪型	△		○	○	○	○			○	○				○	○	○		○
イベント型	伝統行事型	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	イベント型	－		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	年中行事型	－		○	○		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
レジャー・ スポーツ型	遊覧型	－			○		○	○						○	○	○		○	
	水面スポーツ型	－	○	○	○		○	○	○				○						
	水際線利用型	△	○	○	○		○		○			○			○	○			○
	高水敷グラウンド型	△			○					○		○	○		○	○		○	
	高水敷空間型	△			○					○	○	○	○		○			○	○
	堤防型	△		○	○						○	○	○		○	○			